

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2004-181248 (P2004-181248A)  
【公開日】平成 16 年 7 月 2 日 (2004.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-025  
【出願番号】特願 2003-405290 (P2003-405290)  
【国際特許分類】

**A 6 1 B 5/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検出装置 (16) と、  
前記検出装置 (16) に固定されたケーブル (18) と、  
表示画面 (14) と、  
前記表示画面 (14) のハウジング (12) とを備える監視装置 (10) であって、  
前記ハウジング (12) は、上壁 (20) と、該上壁 (20) に隣接する第 1 の側壁 (22) と、該上壁 (20) に隣接する第 2 の側壁 (24) を含み、  
前記表示画面 (14) は、前記上壁 (20) と前記第 1 及び第 2 の側壁 (22、24) との間に延在し、  
前記上壁 (20) と前記第 1 及び第 2 の側壁 (22、24) の少なくとも 1 つに第 1 のチャンネル (26) が形成され、  
前記ケーブル (18) は前記第 1 のチャンネル (26) 内に取り外し可能に収納され、  
前記第 2 の側壁 (24) に第 2 のチャンネル (26) が形成され、  
前記ケーブル (18) は前記第 2 のチャンネル (26) 内に取り外し可能に配置される監視装置 (10)。

【請求項 2】

前記上壁 (20) に配置された第 3 のチャンネル (26) を更に含み、  
前記ケーブル (18) は前記第 3 のチャンネル (26) 内に取り外し可能に配置される請求項 1 に記載の監視装置 (10)。

【請求項 3】

前記第 1 乃至第 3 のチャンネル (26) が、連続している請求項 2 に記載の監視装置 (10)。

【請求項 4】

前記ケーブル (18) が、弛緩時の外径と伸長時の外径とを有し、前記弛緩時の外径が前記チャンネル (26) の幅より大きく、前記伸長時の外径が前記第 1 乃至第 3 のチャンネル (26) の前記幅よりも小さいことを特徴とする、請求項 1 に記載の監視装置 (10)。

【請求項 5】

前記ケーブル (18) が、圧入方式で前記第 1 乃至第 3 のチャンネル (26) 内に受けられることを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置 (10)。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

１つのタイプの監視装置は、医療用の患者監視装置である。患者監視装置は、例えば、血圧監視装置、心電図監視装置、超音波監視装置等を含む。患者監視装置においては、検出装置は、超音波プローブ、血圧計バンド、電氣的センサ、温度センサ、音響センサ等を含むことができる。

【特許文献１】米国特許第６６４６６１２号